

# ふじみ野

市議会だより

No.32

H26.2.1 発行

埼玉県ふじみ野市議会

## CONTENTS

### 安全でおいしい給食の提供を 2p

(仮称)ふじみ野市上福岡学校給食センター整備運営事業 契約の締結

### 子どもの健康を願って 4p

平成25年度一般会計補正予算

### 市政を問う! 一般質問 17人が政策論議 5p

Proud!

東日本大震災の復興を支援しよう

Japan



#### 働く人シリーズ⑪ 保育士

「お休みの日は何してたの?」「ママとおかいもの～」  
元気な笑い声に包まれながら、保育園の1日が始まります。

関連記事…12ページ

# 議案審議

本会議・各常任委員会での質疑・討論をまとめています。



# 安全でおいしい給食の提供を

(仮称) ふじみ野市上福岡学校給食センター整備  
運営事業契約 契約金額…53億 697万円

契約締結  
賛成多数で可決

本議案は17年間にわたり、施設整備から維持管理業務・運営業務までを民間事業者が一括して行う契約の議決です。事業者の選定は、総合評価一般競争入札方式で、東洋食品グループを落札者として決定。安全でおいしい給食をいかに提供できるかに、議論が集中しました。

●主な質疑

問 事業者の選定に当たって重視した点は。

答 調理業務を主としていた運営業務に審査の配点を重くした。

問 落札事業者の評価は。

答 創業以来、食中毒事故ゼロを維持しているなど、調理過程の安全性が高い。また、蓄積した民間ノウハウを活用し、おいしい給食提供への方策が評価された。

問 安全を確認するチェック体制、リスク管理は。

答 外部アドバイザーによる専門的なモニタリングを行う。71項目のリスクチェックを明記して予測不能の事態にも対処していく。

問 メニューや食材調達は。

答 これまでどおり、市が行うという事で変わりはない。アレルギー対応食にも取り組んでいく。

問 近隣への配慮と交通安全対策は。

答 工事期間中の搬入路は原則国道254号バイパスからとし、稼働後も通学時間帯を考慮していく。

平成25年第4回(12月)定例会では、一般会計補正予算をはじめ31件の議案が提出されました。また、議員提案による意見書も9件提出されました。

一般会計補正予算では、公園整備、こども医療費、保育士の処遇改善に処する補助金の費用などのほか、借入金の上償還に充てる費用も計上され、全員賛成で可決されました。

条例制定  
賛成多数で可決

## ふじみ野市立エコパ条例 期待膨らむ 余熱利用施設

平成26年6月オープン

ふじみ野市と三芳町で設置する広域ごみ処理施設の余熱利用施設の名称が「エコパ」と決まりました。この施設の設置条例が提案されました。「エコパ」には、健康増進用プール、浴場、レストラン、大広間等があります。これまでの老人福祉センター「太陽の家」は廃止が決まり、その機能をどう引き継ぐか、市民の使い勝手はどうかなど議論が交わされました。

●主な質疑

問 送迎用のバスはどのような計画になっているのか。

答 「太陽の家」の循環バスはそのまま引き継ぎ、加えて大井総合支所方面からのバスルートが2路線で午前・午後1

往復し、西側地域をめぐ

る。三芳町内からも2路線、1日それぞれ2往復する。現在停留所の位置決めを行っている。

問 「太陽の家」の老人福祉センターという福祉の機能は引き継がれていくのか。

●主な意見

賛成 給食のメニューは栄養士がつくり、食材の調達についても直営と何ら変わらな

いことを確認した。アレルギー対応食は一括して新しいセンターが専用の設備でつくるということで、より一層の安全でおいしい給食の提供が期待できる。

反対 17年に及ぶ長期計画となっており、社会情勢の変化や市民要求との関係から、調理業務に無理がある。また、現場における責任が不明確である。

問 市の指定管理に付する要求水準書で、「太陽の家」の代替施設の機能を持つと明記した。60歳以上の方などの利用料金は無料で、施設、機能、そして今行われている各種サークルや教室など利用形態はすべて踏襲する。

問 プールの規模と定員は。

答 健康増進プールは歩行専用、半円形の往復25メートルとなる規模で、定員は35人。着替え用ロッカーは浴場と共有で、男女それぞれ144個設置される。

問 安全管理はどう

なっているか。

答 プールは安全管理マニュアルを定め、有資格者の確認などのチェック体制を整え安全管理には万全を期していく。

●主な意見

賛成 県内初となる健康増進プールでの健康プログラム事業など、市民にとって適切である。

反対 条例には老人福祉センターの機能を継承する旨の記述がなく、将来に不安を残す。

### 提出議案と審議結果

- 全員賛成 ○ 賛成多数
- 平成25年度補正予算
- 一般会計(第6号)
- 国民健康保険特別会計(第2号)
- 介護保険特別会計(第2号)
- 下水道事業特別会計(第2号)
- 条例の制定
- エコパ条例
- 条例の一部改正
- 行政組織条例
- 市税条例
- 放課後児童クラブ条例
- デイサービスセンター条例
- 国民健康保険条例
- 市営住宅条例
- 下水道条例
- 水道事業給水条例
- 市議会委員会条例
- 条例の廃止
- 葬祭費用の助成に関する条例
- 老人福祉センター条例
- 以上、可決
- 人事
- 人権擁護委員の候補者の推薦
- 同意
- 契約の締結
- 小学校及び中学校空調設備設置工事(1)・(2)・(3)請負契約
- (仮称)ふじみ野市上福岡学校給食センター整備運営事業契約
- その他
- ふじみ野市の公の施設を民間事業者の管理に供することに関する協議
- 道路線の廃止(1件・認定4件)
- 指定管理者の指定
- 上福岡駅西口駐車場
- エコパ
- 子育てふれあい広場
- かみふくおか西デイサービスセンター
- 基金100億円があるのかのごとく発言し、市民をまどわす新井光男議員の発言に対し猛省と陳謝を求める動議
- 意見書
- 容器包装リサイクル法を改正し発生抑制と再使用を促進するための法律制定を求める意見書
- 中国の「防空識別圏」設定の撤回を求める意見書
- 消費税の軽減税率制度の導入を求める意見書
- 新聞への消費税の軽減税率適用を求める意見書
- 消費増税中止を求める意見書
- 年金削減に反対する意見書
- 要支援者への保険給付の継続を求める意見書
- 環太平洋パートナーシップ(TPP)交渉から撤退し日本農業の再生と食糧主権・経済主権を求める意見書
- 特定秘密の保護に関する法律の廃止を求める意見書
- 以上、否決

### 新議員紹介



谷 新一 (無所属)

平成25年10月27日のふじみ野市議会議員補欠選挙の結果、谷新一氏が当選しました。(委員会 福祉・教育常任委員会)

### 意見書

- 容器包装リサイクル法を改正し発生抑制と再使用を促進するための法律制定を求める意見書
  - 中国の「防空識別圏」設定の撤回を求める意見書
  - 消費税の軽減税率制度の導入を求める意見書
  - 新聞への消費税の軽減税率適用を求める意見書
- 平成25年12月13日付けで、内閣総理大臣・各関係大臣に提出しました。

補正予算  
全員賛成で可決

子どもの健康を願って  
こども医療費

補正額：2893万円

平成23年9月から中学卒業までの医療費が無料となり、平成24年10月から窓口払いなしの制度がスタート。一人当たりの支給額の増加のため、増額補正されました。適正な制度運営など今後の課題について質疑がありました。

問 一人当たりの支給額の増加の要因は。

答 現物給付制度になったことで受診率が上がったため。

問 学校でのけがの対応

答 こども医療費ではなく、日本スポーツ振興センター災害共済制度を利用してもらう。

問 病気予防の取り組み

答 実践している学校もある。学校別・地域別のデータの把握は。

問 取り組みをどう反映させていくことができるか研究していきたい。

親しみある公園へ

市内公園整備、遊具改修工事

補正額：1981万円

5カ所の公園で、改修や遊具の設置等が行われます。遊具の設置予定や整備方法などに質疑がありました。

問 整備内容は。

答 市沢公園の噴水施設を撤去し、西中央公園には複合遊具を設置する。また、南台公園、富士見台第1公園、鶴ヶ岡中央公園に遊具を各1基設置する。

問 遊具の撤去後、再設置されていない公園の今後の予定は。

答 今年度、全部で8カ所の公園に遊具が設置されるが、小規模な公園では安全面から設置が難しい。また、修繕費が予定

よりも多くなっている分、設置数が計画より減っている。

問 整備の検討方法

答 「公園施設等再整備検討委員会」において、利用状況や規模などから、遊具や防災上の位置づけなどを含めた整備方法を検討していく。

市政を問う！ 一般質問

まちの将来を見据えて

総合

オリンピック開催と文化・スポーツ振興

堀口修一議員

問 オリンピック開催による、スポーツ熱の高まりにどう応えていくか。

答 スポーツ振興計画の策定を目指し、市民の意識調査や障がい者団体などを含めたヒアリングを実施し、計画に反映していく。

また、スポーツ事業における健康促進を、公共施設を活用する事業で展開推進していきたいと考えている。



スポーツで汗を流そう

問 ボランティアに協力してもらい、市民が気軽に参加できる語学教室や、市内大学と連携し公開講座の開催を実施していく。

答 室内や、市内大学と連携し公開講座の開催を実施していく。

問 オリンピック開催を機に、文化芸術の振興で世界と交流を。

答 市の伝統文化やイベントを、PRポイントの一つにできるような発信していく。

問 いつまでも住み続けたいと思われたいまちづくりにとって、文化・スポーツの振興は重要な施策だ。今後の取り組みは。

答 文化・スポーツは心身の健康を保つ施策としてどちらも重要。積極的に展開を図り、推進条例制定に向けて取り組んでいく。

協働のまちづくり

島田典朗議員

問 市内の課題箇所に対する市民要望や市の対応を、インターネット上で市民と情報共有して

条例改正  
全員賛成で可決

行政組織条例の一部改正  
より成果を上げる組織へ

市政改革の推進や市民ニーズへの適切な対応を図るべく、秘書室の独立と市民生活部から分離し、環境経済部を新設することが提案されました。

主な質疑

問 秘書室を総合政策部から独立させる目的は。

答 市長の政策実現に向けたスピーディーな対応と確実な指示命令系統の確立を目指す。

問 秘書室と総合政策部

とで、意見の食い違いが生じることもあり得るのでは。

答 指示命令系統が二極化することのないよう連携を図っていく。

問 環境経済部を新設し

た理由は。

答 企業誘致や広域ごみ処理施設建設など、大きな施策に対する確実な成果を生み出すためである。

主な意見

賛成 改正効果を発揮させ、市民の利益につながる体制を。

賛成 組織は人なりという面もあるので、適材適所の人員配置を。

議案に対する質疑

誠風会 山田 敏夫議員  
信政会 島田 典朗議員  
公明党 伊藤美枝子議員

日本共産党 塚越 洋一議員  
かがやき21 民部 佳代議員

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議案では、17人の議員が一般質問を行いました。掲載した内容は各議員本人が要約したものです。なお、全ての質問と回答は市議会ホームページの会議録で閲覧できます。(2月下旬掲載予定)

ヤミ金融の広告の撲滅を

島田典朗議員

問 屋外広告物法や条例に基づかない広告の中には、違法金融業者が無断で掲示しているものもあり、犯罪に巻き込まれる一因になり得る。市の対応は。

答 担当課の市内巡回において、条例に基づき、道路上の電柱等の違法広告物の除却を行っていきいます。民家の塀等の広告物の対応は警察となるが、市民相談等でも対応していきたい。

特定秘密保護法の市民への影響

新井光男議員

問 自衛隊大井通信所があるが、市民への具体的な影響はあるのか。

答 同法は、防衛、外交、特定有害活動の防止、テロリズムの防止に関する事項について、特定秘密の指定及び取扱者の制限などを定め、情報の漏えい防止、国及び国民の安全確保に資することを目的にした法律である。この法律の秘密規定の対象内容など具体的な運用が明らかになっておらず、詳細が示されていない。法令等を注視し、市民への具体的な影響や市政への影響など検証を重ね対応したい。

市民要望を踏まえ、た予算編成を  
新井光男議員  
問 一般会計と特別会計の基金76億円がある。公営企業会計の留保資金を含めると100億円程度になるが、どのように活用するのか。  
答 平成26年度予算は、防災減災対策の充実、経営的視点に立った行政運営、次世代育成への取り組み強化、安全・安心な施設づくりなどを重点に編成を進める。基金などの活用は、歳入不足に補てん分として活用する。

労働行政の拡充  
伊藤初美議員  
問 労働相談窓口を常設できないか。  
答 人員配置や職員のスキルの課題により難しいが、ふるさとハローワークの早期開設に向け、厚生労働省に要望していく。

市長の2期目の重点政策は  
小高時男議員  
問 先の選挙で「未来創造プラン」として具体的な施策25項目を掲げた。これらの施策展開の考え方は。  
答 これまで、子ども優先の政策を展開してきた。2期目も基本的な考えは変わらない。今後の市の財政基盤を強固にし、増加する医療費や社会保障の経費にも対応

可能な財政運営を行う。また、いじめ問題への対応など、子ども優先の施策を軸とし、発育発達支援センターの設置等に取り組み。さらに、行政組織条例を改正し、選ばれるまちを目指す。

消費税率変更に伴う市政への影響  
西 和彦議員  
問 消費税率が引き上げられるが、歳入や歳出への影響はどのようになるのか。  
答 平成25年度予算ベースで試算すると2億2千万円程度のマイナス影響が生じる。平成26年度の予算編成においては、今後の国の動向に注視して対応していく。

施設制度の統一を  
小林憲人議員  
問 集会所方式と公民館分館方式といった2つの方式が併存している。どちらでもよいが、制度の統一を図るべきでは。  
答 現状における問題・

課題を精査し、市民の声を幅広く聞きながら、慎重に検討を進めていく。

自転車の交通安全を  
小林憲人議員  
問 交通事故防止策の一環として、自転車運転免許制度の推進を図って

答 東入間警察署の協力を得て、小学校4年生以上を対象とした安全講習や高齢者自転車大会を行っており、自転車運転免許証を交付している。市内の小学校やシルバー人材センターとさらに連携を図り、制度を推進していきたい。



自転車大会で交通ルールを学ぼう

備えあれば憂いなし

…防災・安全

雨水対策  
西 和彦議員  
問 市内浸水箇所の発生原因の分析と、将来を見据えた雨水対策の取り組みは。  
答 地球温暖化等の影響で想定を超える雨量や、開発による地下浸透量の低下が見られる。既設管の処理能力では対応できない箇所では浸水被害が起きている。今後の

対策としては、雨水管や調整池等の整備が必要であり、関係機関等と連携を図り計画的に進めていく。

太陽光パネル設置に市独自の補助を

…高齢者

足立志津子議員

問 平成21年度に国の補助金を使い、太陽光パネル設置の補助を行っていた。今後、市独自の補助金制度をつくることについてはどうか。  
答 市独自ではできないが、国・県の動向により対応したい。

住宅密集地の火災延焼対策

伊藤初美議員

問 空き地を確保するために、老朽化している家屋の解体費補助制度を設けては。  
答 現在の厳しい財政状況や私有財産の管理に公金を投入することは是非など、課題が多いた

防犯カメラで犯罪抑止を

小高時男議員

問 自治会、町会等、地

みんなで見守る

…高齢者

要支援者へのサービス継続を

伊藤初美議員

問 平成29年度から、要支援者の通所介護と訪問介護が介護保険の予防給付から移行される。地域支援事業として

「地域ケア会議」の開催を  
小林憲人議員  
問 高齢者への総合的な対応を図るために、地域包括支援センターが中心となって介護・医療など関係機関が集まる「地

域ケア会議」を開催すべきでは。  
答 支援の充実と社会基盤の整備を進めるために、「地域ケア会議」は必要。情報収集をして、本格的な実施に向け準備を進めていく。



山田敏夫議員  
問 10月の台風による大雨で、元福岡地区の一部

元福岡地区の浸水対策

山田敏夫議員  
問 桜通線側の福岡中央公園は、大雨の時など雨水が一面に溜まるので整備しては。  
答 新年度で公園の雨水浸透などの整備をしていきたい。

元福岡の危険箇所安全対策

岸川彌生議員

問 元福岡一丁目にある通称A坂搬入路について、どのような安全対策が決まったのか。  
答 道路北側の桜の木を伐採して新たに歩道空

問 短期的には、道路部分に排水ポンプを設置して被害拡大防止を行

き地を設けることで地元の合意を得ている。歩道整備には、桜の木の伐採・伐根、堅固な擁壁を設置した上での工事となるので、沿線住民の協力が不可欠であるとともに、財源の確保など具体的な事業計画の策定を進める。

問 大雨になると水害が発生するなど深刻な状態になる場所がある。今後の対策は。  
答 短期的には、道路部

い、長期的には、雨水貯留浸透施設等を考慮した計画を県や川越市と協議する。

マンション防災対策

民部佳代議員

問 マンションでは消防法により管理組合が毎年避難訓練を行っている。市職員も出向いて、防災意識の啓発や避難所運営の協力を求めています。  
答 今後、行いたい。

問 空き地を確保するために、老朽化している家屋の解体費補助制度を設けては。  
答 現在の厳しい財政状況や私有財産の管理に公金を投入することは是非など、課題が多いた

問 空き地を確保するために、老朽化している家屋の解体費補助制度を設けては。  
答 現在の厳しい財政状況や私有財産の管理に公金を投入することは是非など、課題が多いた



サービスを継続させるための準備は。

【答】平成28年度の事業移行に向け、必要なサービスの種類や量を検討するため、要支援者の実態把握調査の準備を進めている。

【問】地域包括支援センターを市民がわかりやすい名称に変え、機能の強化が必要ではないか。  
【答】だれもがわかりやすい呼称を検討し、職員体制の充実を図っていく。

高齢者などの見守り支援を

伊藤美枝子議員

【問】高齢者の人口増加を見越して生活介護サポーターの養成や、認知症を知るために自治会や学校で認知症講座の実施を。  
【答】介護支援ボランティア制度の導入を研究し、共助による介護力の向上を図りたい。自治会へも出向いて講座を行うとともに、学校では来年度モデル校を指定し取り組む。

アニメを活用した認知症教育を

五十嵐正明議員

【問】認知症の方が安心して暮らしていくために、児童・生徒に対し、知識や対応方法などの普及・啓発のアニメを活用しては。  
【答】児童・生徒に対する「認知症サポーター育成講座」への取り組みを強化し、教材の一つとしてアニメの活用について研究する。

孤独死をなくすため

鈴木啓太郎議員

【問】高齢者や生活困窮者が一人でも安心して暮らせるコミュニケーションをいかに築いていくのか。  
【答】平成25年度は11月末までで孤独死といえる事例が6件、高齢者単身世帯などで起きた。9月にスタートした高齢者見守りネットワーク事業に、新聞・電気・ガス

引きこもりの実態調査と支援

伊藤美枝子議員

【問】国の推計では26万世帯、70万人とも言われている。適切な支援を行うためにも実態調査を。  
【答】調査は民生委員による社会調査を活用し、福祉課等と連携し把握することが有効と考え、今後方法を検討する。

未婚のひとり親に寡婦控除を

民部佳代議員

【問】離婚・死別した母子家庭は税法上の寡婦控除が受けられるが、婚姻歴のないひとり親には適応されず保育料なども差が出る。子の福祉という観点から、市の裁量で保育料などには寡婦控除をみなし適用してはどうか。  
【答】国の動向に注視しつつ、検討したい。

寡婦控除みなし適用で貧困防止を

足立志津子議員

【問】婚姻歴のない母子家庭は寡婦控除の対象外。保育料や市営住宅家賃などを、婚姻歴のある場合

健やかな暮らしを支える

家庭

最後まで自宅で暮らすために

民部佳代議員

【問】最後まで自宅で暮らし、家族が看取るには、休日・夜間に対応できる訪問看護が必要では。市も努力を。  
【答】訪問看護ステーションは県の認可。休日・夜間の訪問看護には報酬の加算があるが、人材確保に苦慮しているようだ。

と比べると負担が多い。子どもの貧困防止という観点に立ち、寡婦控除の「みなし適用」を行うべきでは。  
【答】国の動向を見ながら対応する。

市民の暮らしを支える

鈴木啓太郎議員

【問】成年後見制度の活用をどのように進めるか。  
【答】制度の利用相談が増えており、窓口で専門職相談員を増やすとともに、地域福祉計画に則って支援体制の充実を図る。また市民後見人の育成にも取り組む。

来年度の障がい福祉政策

鈴木啓太郎議員

【問】来年度以降の新しい障がい者施策は何か。  
【答】課題となっていた精神障がい者の日中活動の場として、本来は運営団体が物件を確保すべきだが、暫定的に旧大井保健センターの活用な

グループホームの設置

山田敏夫議員

【問】障がい者の保護者会からグループホームの設置要望があるが、その対策は。  
【答】社会福祉法人が設置に向けて検討している。市としても国や県の整備費補助金を活用し、可能な限り支援していきたい。

データヘルス計画の取り組みを

伊藤美枝子議員

【問】レセプトや健診情報などのデータ分析を行い、効果的な保健事業を。  
【答】平成26年度に稼働する国保データベースの有効活用とデータ分析ができるスタッフを育成し、市民の健康維

のびのび育てる

いじめ対策

西 和彦議員

【問】いじめ防止対策推進法の施行を受けての取り組みや、「いじめ防止条例」制定の考えは。  
【答】今後、関係機関等との連携を図り、いじめ防止等の付属機関としての組織を設置し、基本方針の作成を行う。学校においてもいじめ防止等の対策のための組織をつくる。また、条例制定に向けての準備を進める。

保育の充実に向けて

仙田 定議員

【問】保育所の待機児童対策は、今後増加する傾向があるため、定員拡大を図っていく。平成26年度は、既存の認可保育所の分園開設により定員数が20人増加する予定。平成27年度には、新たな認可保育所の建設により、定員数が280人増加する計画で、現在協議を行っている。  
【答】保育所内に、「病児・病後児保育室」の設置を。平成27年度の認可保

持・増進や医療費の適正化に努める。  
【問】がんの特化した総合窓口の設置  
【答】五十嵐正明議員  
【問】がんと告知された患者、またその家族の不安や悩みは、非常に大きなものである。体験を共有し、ともに考える「ピアサポーター」等の相談窓口の設置は。  
【答】心のケアを含め、さ

者、またその家族の不安や悩みは、非常に大きなものである。体験を共有し、ともに考える「ピアサポーター」等の相談窓口の設置は。  
【答】心のケアを含め、さ

さまざまな相談を病院だけでなく、地域で必要な緩和ケアが受けられる体制づくりも必要と認識しており、今後研究していく。

学校トイレの緊急改修を

塚越洋一議員

【問】一部の学校トイレが老朽化し、破損や臭いが増やしてほしいとの声は切実。緊急改修計画を立て、踏み切るべきでは。  
【答】大規模改修事業の実施までに年数を要する学校については、トイレ



元気な声が響く保育所

改修を先行して実施する。財源は合併特例債と基金を先行して充てるので支障はない。

公立保育所の耐震対策

伊藤初美議員 耐震性が不足との結果が出た公立保育所の

対応は、緊急調査の結果を踏まえ、平成26年度の早い時期に緊急工事を実施したい。

快適な空間を

…まちづくり

道路等の包括管理を民間に委託を

しても公共交通の充実が、地域の活性化、環境負荷の軽減につながるものとの認識は十分にある。まずは可能な範囲から地域の状況に応じ、段階的に見直しを図っていく。



市内循環バス運行の拡充・改善を

足立志津子議員

問 市の調査結果で、市民要望は「運行本数を多く」「駅へのアクセスを」「通勤通学時間帯の増便」となっている。財政枠を増やし、運行拡充を図るべきでは。

答 現行予算3千万円を変えず、平成26年度には新しい運行にしたい。

市内循環バスのニーズ把握は

谷 新一議員

問 市内循環バスが市民のニーズに合致しているか否か、市はどのような



な現状認識か。アンケート調査では、駅への移動が多いことや運行本数、運行時間帯について一定の水準が求められている。市と

五十嵐正明議員 道路の修繕や街路樹、街路灯等の巡回、清掃などを民間業者に一括して委託することで、サービスの向上が図れるのでは。

答 維持管理や修繕・改修に要する費用が増加している。道路管理手法のあり方については、指定管理、民間事業者に委託する場合等、今後検討する。

市街地整備の今後は

谷 新一議員

問 都市計画決定されながら長期間にわたり、事業化されていない道路

や市街地整備について、今後の方向性は。 答 現状と事業の課題を分析して、その必要性を再検証し、適切に見直しを進めていきたい。

問 今後、優先して着手すべき都市計画事業はあるのか。 答 現在においては、上福岡駅前通線東口駅前広場の整備、上沢勝瀬通り線の未整備区間の整備を考えている。

親しみのある空間創出を

小林憲人議員

問 まちの魅力や付加価値をつけるために、イルミネーションを行ってみては。

答 地域や市全体のイメージアップにつながるイルミネーションを実施するときに、公園を

求められる公園のあり方とは

仙田 定議員

き家バンクの創設や、オーナー向け相談窓口の開設が必要では。

答 市内の空き室はまだ把握していないので、実態調査が必要。相談窓口は調査・検討していく。

空き家問題への対応

岸川彌生議員

問 県では空き家問題について行政代執行が盛り込まれたモデル条例が示された。市の対応は。

答 県の指針を参考に調査研究する。

問 所有者の高齢化などいろいろな事情があつて、自分では空き家の植木等の管理ができない状況もある。所有者とシルバー人材センターとの植木等の管理の年間契約システムを構築してはどうか。

答 市も市有施設について年間契約を行つていく。同様にできるような方向性に検討する。



公園遊具で健康づくり

公園に健康遊具を増設して

塚越洋一議員

問 亀久保西公園の健康遊具はよく利用されている。介護予防にも効果的なので、全市的に増設すべきでは。

答 夏ごろまでに「公園施設等再整備検討委員会」の結果を踏まえて、一定規模以上の公園に設置を検討したい。

の活性化及び災害時の避難路、延焼遮断帯の機能を持つ道路として整備されたが、その先の整備がとまっており、近隣住民は困っている。今後の進捗は。

答 接続先の都市計画道路入間線の整備時期の目途が立っていない。また、地権者の合意形成の難しさ等がある。しかし、桜通線は基盤整備や都市防災上欠かせないと認識している。

足立志津子議員

問 冬場の通勤時間帯は、カーブミラーが曇つて見えず危険。防曇効果のあるミラーの導入を。

答 市内全域の鏡面は2600枚で、防曇用の単価は8万円くらい。効果

冬でも見やすいカーブミラーに

塚越洋一議員

問 今後も増え続ける空き家・空き室を社会資源として活用し、地域コミュニティの活性化と再生に役立てるべき。民間団体とも協力して空

空き家・空き室の活用を

を見るため先進地を研究したい。

問 今後増え続ける空き家・空き室を社会資源として活用し、地域コミュニティの活性化と再生に役立てるべき。民間団体とも協力して空

桜通線の今後は

小高時男議員

問 桜通線は周辺商店街

編集委員がインタビュー!



ご協力いただいた保育士さん  
左から、八見千春さん 池田千代里さん 瀧澤 緑さん

表紙：働く人シリーズに寄せて

## 保育士さんに伺いました

職場に理解があるので続けられています。  
(池田さん)

**Q** 将来の夢は？

**A** これからも、地域で子どもに関わる仕事をしたい。(八見さん)

**Q** 子育てママにメッセージを。

**A** 私も保育園に子どもを預けて働いているので、お母さんの気持ちも分かります。一人でがんばらずに周囲の人の助けを借りてほしい。保育園も一緒に子育てするパートナーです。(八見さん)

**Q** お父さんにも一言。

**A** 子育てはどうしてもお母さんに負担がかかります。男の人は何をすればいいのかわからないようですが、ぜひ協力してほしいですね。でも最近のお父さんは協力的ですね。(池田さん)

**Q** どんな時にやりがいを感じますか？

**A** 子どもの笑顔が何よりの励みです。(瀧澤さん)

**Q** 大変なことは？

**A** けがのないよう気を使います。(瀧澤さん)

**Q** 仕事を続ける上で迷いはありますか？

**A** 自分の子が病気の時は心配だし、一方で休むと職場に負担をかけてしまう。幸いにも

議会だよりは、ふじみ野市のホームページからも閲覧できます。  
市議会の議事録も見られます。  
<http://www.city.fujimino.saitama.jp/>

市議会 をクリック

12月定例会の傍聴者は56人でした。

**傍聴をお待ちしています**

次の定例会の  
開 会 予 定：2月28日午前9:30～

請願締め切り予定：2月18日午前10:00

### 議会広報常任委員会

委員長	民部 佳代	副委員長	伊藤 初美
委員	小林 憲人	委員	仙田 定
委員	島田 典朗	委員	鈴木啓太郎
委員	堀口 修一		

市議会議員による時候のあいさつ状、寄附行為等は、法律で禁止されております。ご理解をお願いします。

### 表紙の題字を書いた人

大井西中3年 和田 杏奈さん

ふじみ野



「野」は何回も書き直して、上手に書けました。将来は、書道の先生になり、尊敬される人になりたいです。

### 編集後記

直前に行われた市長選挙の余韻が残る中、市政の新たな展開を議論する議会となった。今年は、6年後の東京オリンピックを見据えて冬季オリンピックに始まり、夏のサッカーW杯などスポーツに関心が集まる。かつてスポーツに汗した日々を思い起こす人も多いのでは。しかし、体重計に乗れば思わず、**お(も)す(ぎ)る(る)** 合掌。  
(堀口修一)